

収益的収支の状況

	(雨水)	その他	(汚水)	一般会計繰入金(基準内)	その他
収入 11,901,856	一般会計繰入金 (基準内) 1,870,786(59.5%)	長期前受金 戻入 1,266,228 (40.3%)	下水道使用料 5,579,367(63.7%)	長期前受金戻入 2,621,127(29.9%)	その他 34,209(0.4%)
(雨水) 3,143,386					
(汚水) 8,758,470					
					うち分流式 275,153(3.1%)
支出 11,774,453	企業債支払利息 483,295(15.5%)	固定資産減価償却費及 び除却費 2,342,148(75.3%)	管渠、処理場の 維持管理経費 1,927,498(22.2%)	業務費・総係費 313,792(3.6%) 固定資産減価償却費及び除却費 5,233,331(60.4%)	企業債 支払利息 1,012,453 (11.7%)
(雨水) 3,108,897					
(汚水) 8,665,556					
	総係費 63,843(2.1%)	その他(消費税) △34,488(△1.1%)			その他 178,482(2.1%)
			管渠、処理場の維持管理経費 254,099(8.2%)		

収支区分	平成30年度	平成29年度	増減額	前年比 (%)	説 明
収入（事業収益）	11,901,856	12,052,685	△ 150,829	△ 1.3	(税抜)30年度 11,488,779
①下水道使用料	5,579,367	5,575,598	3,769	0.1	大口使用者（上位20社） △22,293
②長期前受金戻入	3,887,355	3,864,014	23,341	0.6	補助金等固定資産取得財源の減価償却見合い分の収益化額 (現金収入を伴わないため補てん財源とはならない)
③一般会計繰入金 (基準内)	2,394,553	2,594,689	△ 200,136	△ 7.7	うち分流式（赤字補てん分） 30年度275,153 29年度499,386
④その他	40,581	18,384	22,197	120.7	国庫補助金 +11,988
支出（事業費）	11,774,453	11,888,266	△ 113,813	△ 1.0	(税抜)30年度 11,488,779
①管渠・処理場 管理費	2,181,597	2,126,487	55,110	2.6	委託料 +41,824 請負工事費 +11,735
②業務費	202,561	341,475	△ 138,914	△ 40.7	人件費 △ 27,886 委託料 △212,668 負担金 +108,542
③総係費	175,074	190,187	△ 15,113	△ 7.9	人件費 △ 9,106 委託料 △34,745 負担金 +32,124
うち①～③の 人件費	250,814	303,391	△ 52,577	△ 17.3	【3条職員数】 正規32人(△4)、再任用3人(±0)、嘱託1人(△4)
④固定資産減価償 却費及び除却費	7,575,479	7,516,296	59,183	0.8	減価償却費 +66,476 資産減耗費 △ 7,293
⑤企業債支払利息	1,495,748	1,618,780	△ 123,032	△ 7.6	企業債残高の減少に伴うもの
⑥その他	143,994	95,041	48,953	51.5	消費税及び地方消費税 +49,472 特別損失（過年度損益修正損）△511
純利益（消費税抜き）	0	0	0		30年度（税抜収入11,488,779 －税抜支出11,488,779＝0）

下水道使用料の推移

(単位/百万円)

年度	使用料(百万円)
19年度	3,715
20年度	3,850
21年度	4,375
22年度	4,549
23年度	4,582
24年度	4,618
25年度	5,564
26年度	5,339
27年度	5,436
28年度	5,503
29年度	5,576
30年度	5,579

資本的収支の状況

	(雨水)	(汚水)
収入 5,213,752 (雨水) 1,564,703 (污水) 3,649,049	一般会計繰入金 (基準内) 961,312(61.5%) 資本的収支不足額 1,110,408	国庫(県)補助金 650,788 (17.8%) 建設企業債 1,466,800(40.2%) 資本費平準化債 800,000 (21.9%) 一般会計繰入金 (基準内) 611,125 (16.8%) 資本的収支不足額 2,686,756
	建設企業債 457,300(29.2%) 国庫(県)補助金 146,091(9.3%)	その他 120,336(3.3%)
支出 9,010,916 (雨水) 2,675,111 (污水) 6,335,805	建設改良費 755,753 (28.3%) 企業債元金償還金 1,919,358(71.7%)	建設改良費 2,263,129(35.7%) 企業債元金償還金 4,064,987(64.2%) その他 7,689(0.1%)

収支区分	平成30年度	平成29年度	増減額	前年比 (%)	説 明
収入	5,213,752	6,048,897	△ 835,145	△ 13.8	
①企業債	2,724,100	3,159,500	△ 435,400	△ 13.8	建設改良費の減によるもの
②一般会計繰入金	1,572,437	1,563,362	9,075	0.6	
③国庫（県）補助金	796,879	1,203,958	△ 407,079	△ 33.8	建設改良費の減によるもの
④その他	120,336	122,077	△ 1,741	△ 1.4	受益者負担金 97,182 基金 14,990
支出	9,010,916	9,968,865	△ 957,949	△ 9.6	
①建設改良費	3,018,882	3,873,618	△ 854,736	△ 22.1	
うち①の人件費	322,976	341,345	△ 18,369	△ 5.4	【4条職員数】 正規38人(±0)、再任用3人(△1)
②企業債償還金	5,984,345	6,080,257	△ 95,912	△ 1.6	企業債残高減に伴う元金償還の減
③その他	7,689	14,990	△ 7,301	△ 48.7	基金積立金
資本的収支不足額（△）	△ 3,797,164	△ 3,919,968	△ 122,804	△ 3.1	

補てんの状況

	平成30年度	平成29年度	増減
① 前年度からの繰越額	1,196,583	1,292,025	△ 95,442
② 損益勘定留保資金	3,603,218	3,660,107	△ 56,889
③ 当年度分消費税等資本的収支調整額	127,403	164,419	△ 37,016
④ 当年度内部留保資金（①+②+③）	4,927,204	5,116,551	△ 189,347
⑤ 資本的収支不足額（△）	△ 3,797,164	△ 3,919,968	△ 122,804
⑥ 当年度内部留保資金補てん残額（④+⑤）	1,130,040	1,196,583	△ 66,543
⑦ 当年度純利益	0	0	0
⑧ 翌年度繰越額（⑥+⑦）	1,130,040	1,196,583	△ 66,543

経営状況

1 処理状況

項 目	平成30年度	平成29年度	増 減	説 明
処理区域内世帯 (世帯)	141,859	139,563	2,296	整備促進に伴う世帯、人口の増
処理区域内人口 (人)	303,149	301,524	1,625	
人口普及率 (%)	63.44	63.05	0.39	処理区域内人口 303,149人／行政区域内人口 477,858人 【中期経営計画H30目標値：63.70% 増減：△0.26ポイント】
年間処理水量 (㎡)	42,262,354	43,505,531	△ 1,243,177	1日平均汚水処理量 H30：112,157㎡ H29：113,644㎡
年間有収水量 (㎡)	33,076,902	32,981,355	95,547	1日平均有収水量 H30：90,622㎡ H29：90,360㎡
有収率 (%)	78.27	75.81	2.46	年間有収水量／年間処理水量
水洗化率 (%)	89.13	88.98	0.15	水洗化人口／処理区域内人口 【中期経営計画H30目標値：91.70% 増減：△2.57ポイント】

2 主な建設改良事業の実施状況 (単位/千円)

・管渠建設事業（処理区別、汚水・雨水別実施状況）

- 中央処理区 1,076,985（汚水 788,528 雨水288,457）
- 穂田処理区 85,646（汚水 70,581 雨水 15,065）
- 東部処理区 174,535（汚水 86,386 雨水 88,149）
- 大在処理区 330,838（汚水 307,568 雨水 23,270）
- 南部処理区 106,223（汚水 59,539 雨水 46,684）
- 合 計 1,774,227（汚水1,312,602 雨水461,625）

・処理場建設事業

- 片島雨水排水ポンプ場整備事業 143,798

（旧中央清掃事業所解体工事）

＊片島雨水排水ポンプ場建設の概要

- ・工期 令和元年度から令和3年度まで
- ・供用開始 令和4年4月予定
- ・総事業費 39億3,000万円（うち国庫補助金18億2,750万円）
- ・排水能力 18.0㎡／秒

- 原川中央監視設備改築事業 249,494

3 財務状況

(単位/千円)				
項 目	平成30年度	平成29年度	増減額	説 明
純利益（消費税抜き）	0	0	0	
引当金残高	39,289	31,536	7,753	
賞与引当金等	29,170	20,578	8,592	令和元年度6月期末・勤勉手当のうち、平成30年度の負担に属する支給対象期間相当分（12～3月）を計上
貸倒引当金	10,119	10,958	△ 839	過去3か年の平均貸倒率を当年度期末未収金残高に乗じたもの
内部留保資金繰越額	1,130,040	1,196,583	△ 66,543	
企業債残高	81,779,616	84,981,161	△ 3,201,545	借入額：2,782,800（一時借入額を含む） 償還額：5,984,345

4 経営指標

（1）使用料水準について

項 目	大分市				増減	法適用 中核市48市 平均 (H30)	説 明
	H30	(順位) 48	H29	(順位) 41			
汚水処理原価 (円/㎡)	157.18	31	158.13	28	△ 0.95	146.96	汚水処理費（維持管理費＋資本費）÷年間有収水量【有収水量1㎡あたりの汚水維持管理費及び資本費の計】
使用料単価 (円/㎡)	156.18	28	156.53	25	△ 0.35	148.58	使用料収入÷年間有収水量 【有収水量1㎡あたりの使用料収入】
1ヶ月20㎡あたり 使用料 (円)	2,741	31	2,741	27	0.00	2,512	（税込額）

（2）収益性・安定性について

項 目	大分市				増減	法適用 中核市48市 平均 (H30)	説 明
	H30	(順位) 48	H29	(順位) 41			
総収支比率 (%)	100.00	44	100.00	36	0.00	108.16	（総収益/総費用） 100%超の場合は利益、100%未満は損失となる
経常収支比率 (%)	100.03	46	100.03	36	0.00	108.44	（営業収益＋営業外収益）/（営業費用＋営業外費用） 経常費用がどの程度経常収益によって賄われているかを示す